

平成30年10月10日

会員各位

美しい多摩川フォーラム事務局

## 平成30年度 第1回 三部会合同部会

◆ 10月10日(水)、美しい多摩川フォーラムの平成30年 第1回 三部会合同部会が開催されました。概要は下記のとおりです。

- ・開催日時：平成30年10月10日(水) 15時～16時半
- ・開催場所：立川グランドホテル 2F キャンティ
- ・出席者：副会長、副部長、運営委員、アドバイザー、会員等

### ◎ 三部会合同部会の概要

#### 1. 開会

#### 2. 部長挨拶

- #### 3. 講話
- テーマ：「南西建管内における河川環境整備の事例紹介」  
講師：東京都南多摩西部建設事務所工事課河川設計総括担当  
福田 敏正 様、杉本 淳 様

#### 4. 経過報告

- (1) 狛江古代カップ第28回多摩川いかだレースに参加(7/15)【資料1】※
- (2) 多摩川“水”大学講座(7/20)
- (3) 第2回「多摩川流域魅力体験事業2018」実行委員会(8/3)
- (4) 美しい多摩川フォーラム・御岳の森「木柵工事」完了(8/15)
- (5) 第10回炭焼き体験と水辺の交流会(8/21)【資料2】※
- (6) 第5回“多摩川酒蔵街道”のキャンペーン開始(9/1～)【資料3】
- (7) 第3回「多摩川流域魅力体験事業2018」実行委員会(9/11)
- (8) 「多摩の物語」の語り会(9/15)【資料4】※
- (9) 多摩川“水”大学講座(9/21)
- (10) 美しい多摩川フォーラムの森(青梅)下刈りイベント(9/22)【資料5】※
- (11) 東急百貨店より第9回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈(10/9)  
～以下、当面の予定～
- (12) 第4回「多摩川流域魅力体験事業2018」実行委員会(10/11)
- (13) 多摩川一斉水質調査地点の現況確認および見直し作業(10/12～10/31)
- (14) 多摩川“水”大学講座開催(10/19、11/16)

(15) 第10回美しい多摩川クリーンキャンペーン開催 (11/3、11/10、11/17) 【資料6】

(16) 多摩川流域魅力体験事業！「多摩川カヌー駅伝大会 2018&ウォークラリー」  
に協力 (11/24) 【資料7】

(17) 第11回多摩川子ども環境シンポジウム開催 (12/8) 【資料8】

## 5. 意見交換

(1) 平成30年度下期の活動計画について

(2) フォーラム・御岳の森「炭焼き施設」全面リニューアル工事について

(3) 多摩川夢の桜街道のPRについて

## 6. その他

## 7. 部会長総括

## 8. 閉会

## 1. 開会 (初参加者紹介および資料確認)

(事務局)

定刻になりましたので、美しい多摩川フォーラム平成30年度第1回三部会合同部会を始めさせて頂きたいと思っております。本日はじめて部会にご出席される方をご紹介いたします。

(東京都建設局南多摩西部建設事務所長 佐野 正佳 様)

佐野と申します。今年4月に着任いたしました。この後、私どもの職員から河川環境整備の事例紹介をさせていただきますので、よろしく願いいたします。

(東京都建設局南多摩西部建設事務所 工事課河川設計総括担当課長代理 北條 鉄也 様)

北條と申します。どうぞよろしく願いいたします。

(元毎日新聞論説委員 元じゃかるた新聞編集長 臼井 研一 様)

臼井と申します。毎日新聞を退職後、ジャカルタで駐在員や家族向けの新聞を出版している会社で編集を担当しておりました。今日は色々な縁があつてここに来ておりますが、後ほどジャカルタにあるチリウン川の清掃活動について説明させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。なお、本日は、副会長の平野教育文化部会長、渡邊環境清流部会長が出張により欠席となりました。今年度の三部会合同部会は、今日を含めて3回予定しております。本日の部会進行は、今年度、藪田部会長の休会に伴い、地域経済活性化部会長代理の堤副部会長にお願いしたいと存じます。それでは、堤部会長

代理に開会のご挨拶をよろしく申し上げます。

## 2. 部会長挨拶

(堤・地域経済活性化部会長代理)

こんにちは。皆さんご多用の中お集まりいただき、感謝を申し上げます。90分間、皆さんと一緒に会議を進めていきたいと思っております。10月10日と言えば「体育の日」というイメージですが、秋を身近に感じられる季節になりました。今日は三部会合同ですので、オブザーバーの方を含めて闊達なご議論をいただきたいと思っております。それでは事務局に進行をお願いいたします。

## 3. 講話

(事務局)

今日は、「南西建管内における河川環境整備の事例紹介」というテーマで、講師に南多摩西部建設事務所工事課河川設計総括担当の福田敏正様、杉本淳様をお迎えし、お話をいただきます。それではよろしくをお願いいたします。

(東京都建設局南多摩西部建設事務所 工事課河川設計総括担当 杉本 淳 様)

本日は、大変お忙しい中、「南西建管内における河川環境整備の事例紹介」を説明させていただき時間をいただき、有り難うございます。私は南多摩西部建設事務所工事課河川設計総括担当の杉本と申します。今日は私と福田の両名で進めさせていただきます。どうぞよろしくようお願い申し上げます。

早速ですが、資料のトップページに描かれている絵をご紹介します。これは東京都の河川PRキャラクター「かわいこちゃんファミリー」です。真ん中の小さいキャラクターが「かわいこちゃん」、左が「かわいこちゃんパパ」、右が「かわいこちゃんママ」です。私ははじめ、「可愛い子ども」だから「かわいこちゃん」だと思ったのですが、実は都民の皆さんに川に親しんでもらうため、「川へ行こう」という意味が含まれているそうです。ぜひこの機会に覚えていただければと思います。

### ●南多摩西部建設事務所の概要

では本題に入ります。南多摩西部建設事務所は、略称・南西建と呼びますが、日野市と八王子市を管轄しており、東京都の面積の約10%を管轄している事務所です。管理している河川は18河川、総延長は119.64kmです。参考までに、東京都で管理している河川は63河川で、総延長は494.82kmですので、南西建では東京都の1/4程度を管理していることとなります。

大体の河川が八王子市を流れており、日野市だけを流れている川は程久保川です。今日は、18河川のうち、特に南西建で力を入れている川口川、谷地川、大栗川での事業について説明させていただきます。

## ●河川環境整備について

個別の河川の説明に入る前に、「東京都が目指すまちづくり」について少し説明させていただきます。皆さんの中には小池都知事の説明をお聞きになった方もいらっしゃるかもしれませんが、“東京都が目指す3つのシティ”があります。

### セーフシティ

都民の毎日の生活を守る、災害から命や財産を守る、そして、活気とにぎわいにあふれる都市（例えば、地震などで電柱が倒れて緊急車両が通れないということがないまちづくり→無電柱化。住宅の耐震化。インフラ整備。）

### ダイバーシティ

誰もがいきいきと生活できる、活躍できる都市（子育て中の母親が安心して働ける、保育サービスが充実したまちづくり。障害者が生き生きと働けるような就労支援。）

### スマートシティ

成長を続け活力にあふれる、世界に開かれた、環境先進都市、国際金融・経済都市（地球温暖化対策、外国企業の誘致等。）

スマートシティの中には政策が8つあり、そのひとつに「豊かな自然環境の創出・保全（水と緑に囲まれた、自然を感じられるまちづくり）」を目指していこうというものがあります。それを受け、ここからは個別の河川の説明に入ります。

## ●大栗川における河川環境整備について

大栗川は全長15.3kmで、そのうち南西建が管理しているのは、横倉橋下流から上流に向かって約11kmの区間です。横倉橋下流から下流に向けて約3kmは南東建が管理しており、そこからさらに下流の多摩川に流れるまでの約1kmは国が管理しています。このように、大栗川は3つの組織が管理している川となります。

大栗川は、昭和40年代に多摩ニュータウンの関連事業として整備が進められ、もともと蛇行していた川を治水目的で直線的に整備しました。コンクリート張りの護岸で河床幅が狭いため、流速が速く、生物の生息に適した環境ではありませんでした。

そこで南西建では、護岸を立てることで河床幅を広げ、寄せ土を行い“みお筋”を形成したり、のり面に芝を張って植生を行ったりして緑化を図り、環境に配慮

した整備を行うこととしています。

現在整備を進めている場所は堀之内洗馬川公園と堀之内番場公園に挟まれたこちらの約300mの区間になっております。ここは若干ですがもともと流下能力が足りない区間でして、その整備と共に、2つの公園に挟まれたこちらの区間を親水拠点として一体的に整備することとしています。

上は整備前の写真です。先ほどご説明した通り、コンクリートが前面に出ており、多摩部の河川と言うよりは、味気ない都市部の河川に見えます。

こちらは整備後の写真です。平成30年1月に右岸側の整備が完了しました。見てお分かりのように、河床幅が広がっています。また、川に近づけるように飛石を設置し、公園から川に降りられるように階段も整備しました。また、景観に配慮し、植栽帯を設置したり、土系の舗装を歩道に整備したり、ブロックも通常のものではなく、多孔質なブロックを採用し、苔が張り付いて緑色になるようにしました。

こちらは完成後のイメージ画になります。現在は右岸側しか整備されていませんが、左岸側と河床も整備していく予定です。川を横断できるように飛石を設置し、右岸側の番場公園と左岸側の洗馬川公園が、河川を通じて連続性を持てるようにします。左岸側にはなるべくブロックを使わず、緑化を図るために張芝を用いて護岸を整備しようと考えております。

## ●川口川における河川環境整備について

ここからは、わたくし福田が説明します。先ほど説明させていただいた大栗川は、すでに護岸整備が終わったところに関して護岸の緑化や親水性を持たせる整備を行っておりますが、これから説明する川口川や谷地川に関しては、中小河川整備事業とあって、「時間50mm降雨」への対応工事を行っている河川です。整備内容は、河川の拡幅に伴う既設護岸の撤去、護岸の新設、河床の掘削、橋梁の架け替え工事を行っております。こういった中小河川整備を行っていく上でも、単に無機質なコンクリート護岸にするのではなく、地元住民の意見を取り入れ、環境に配慮した整備を行っている事例がいくつかありますので、ご紹介させていただきます。

まず川口川ですが、全長14.09kmで、浅川に合流する河川です。このうち護岸整備計画が決まっている区間は、浅川の合流点から釜の沢橋までの8.06kmになります。平成29年度末現在、すでに整備完了している区間が5.01kmで、整備率は62.2%となっています。河川の工事は下流から進めており、現在の事業区間は大正橋から山王橋までの区間になります。今回は、その区間のうち高尾橋から唐犬橋の区間についての事例を説明いたします。

こちらが高尾橋～唐犬橋間の断面図になります。ここでは、河道を拡幅し治水

安全度を高める工事に加え、渇水期(11月～5月)における瀬切れ対策や景観に配慮した護岸構造の整備を進めています。

まず護岸の形式は、地元町会から「景観に配慮した護岸に整備してほしい」という要望を受け、アンカー式の石積護岸を採用しました。また、瀬切れ対策の工事として、河道の真ん中に粘土張り工事を行いました。そもそも瀬切れとは、水が少ない11月～5月によく発生する現象で、上流から流れてきた水が、ある区間になると伏流してしまい、表面を流れなくなる現象です。その対応として、河道の真ん中を一段掘り下げて不透水層を形成し、水が下に浸透するのを防いで表面を流れるようにする工事を行いました。この整備区間の右岸側には、護岸の天端から管理用通路の間にのり面を設け、その部分に植樹や張芝をして緑化を行っています。

こちらが現場の写真です。アンカー式石積護岸の工事を撮影したものです。直径30cmくらいの積み石にアンカーを差し込み、後ろに鋼線を引っ張って、護岸背面に設置してある金網に引っ掛けて安定を図るという施工方法です。また、積み石の裏には直径15cmくらいの割ぐり石を入れています。この護岸の形式は、石と石の隙間に生物の隠れ場所を作ったり、時間の経過とともに石の間から草が生えたりして、景観だけでなく、自然環境にも配慮した護岸になっています。

左は、瀬切れ対策工事を撮影した写真になります。上は工事中的の写真で、黄色い点線で囲った部分が不透水層になります。今回の工事では、タマサンドと呼ばれる人口の粘土を張り付け、水が下に浸透しないようにしています。不透水層を形成した後、一度土を盛って、その上を水が流れるようにしています。

こちらは整備直後の写真ですが、瀬切れは起きておらず、表面を水が流れています。瀬切れが起きているすべての範囲で施工が出来ているわけではありませんので、今後も護岸の整備と並行してこの事業を進めていきたいと考えております。

## ●谷地川における河川環境整備について

続いて、谷地川における河川環境整備について説明させていただきます。谷地川の全長は12.9kmで、多摩川に合流する河川です。護岸の整備区間は10.68kmで、平成29年度末までに完了している区間は8.17km、整備率は76.5%です。現在は無量寺橋下流で工事が行われており、また今年度は、城山下橋～勝手神社橋間で工事を行う予定です。

今日は、平成19～20年度に整備された西橋～明王下橋区間を説明させていただきます。こちらがこの区間の平面図です。こちらについても「時間50mm降雨」の対応工事として河道を拡幅し治水安全度を高めると共に、親水性を考慮した護岸整備(緩傾斜護岸)を目的としています。中小河川整備は、基本的に都市計画線の中で河道を拡幅するのが通常ですが、この区間に関しては、蛇行してい

る昔の河川の敷地と都市計画線内の土地を一体的に整備し、河道幅を広く利用した、親水性を考慮した緩傾斜護岸を整備しました。

こちらが緩傾斜護岸の断面図で、河道幅が約40mあります。右岸側は5分勾配の立った護岸ですが、左岸側は6割勾配の緩傾斜護岸に施工し、表面には張芝を行いました。この緩傾斜護岸の下には隠し護岸として覆土ブロックを施工し、万が一緩傾斜護岸の土が流れてしまった時の対策を講じております。

こちらが現場の写真です。草刈り直後の写真なので綺麗に整備されています。河川管理用通路と緩傾斜護岸の間には、高さ30cmの擬木の柵があり、近隣住民が気軽に水に親しめる場所になっています。また、管理用通路は近隣小学校の通学路になっていて、小学生が下校時に川の中で水遊びをしたり、生き物を採ったりしているのを見かけたことがあります。谷地川では、緩傾斜護岸をほかにも整備しており、その場所毎で水に親しめる空間として近隣住民の方に利用してもらっている状況です。

説明は以上ですが、南西建では今後も河川環境に配慮した整備を進めていきたいと考えております。また、他事務所につきましても、同様の整備を行ってきたいと考えておりますので、今後とも東京都の河川整備にご理解、ご協力をお願いいたします。ご清聴有り難うございました。

(事務局)

有り難うございました。せっかくの機会ですので、ご質問のある方は挙手をお願いします。

(山崎教育文化副部長)

説明有り難うございました。私は現在、東京都レッドデータブックの絶滅危惧種を決める係の左岸側を担当しています。工事前に生息していた生き物と、圏央道等いろいろなものの建設でいなくなった生き物、また今回の河川工事で親水化や緑化を図り、戻ってきた生き物がそれぞれいると思いますが、そういったデータはありますか。

(南多摩西部建設事務所工事課河川設計総括担当 福田 敏正 様)

事業に入る前には生物調査を行っていますし、データもあります。一連の整備が終われば、工事後のデータとして再度生物調査を行いたいと思います。

(山崎教育文化副部長)

実は来年レッドデータブックの書き換えがあり、来年半ばまでにデータを集める必要があるのですが、ご協力いただければと思います。

(事務局)

有り難うございました。ほかにご質問はございますか。

(奥山アドバイザー)

川口川の瀬切れ対策ですが、伏流水になって別の場所から出てくるのでしょうか。もしそうであれば、どこかの井戸水の水源になっていたりしないでしょうか。瀬切れ防止のために粘土を入れてしまうと、本来どこかで井戸水が出ていたところから出なくなる可能性や懸念はあるのでしょうか。

(南多摩西部建設事務所工事課河川設計総括担当 杉本 淳 様)

瀬切れ対策の粘土張りに関しては、川の所々にコンクリートで作った帯鋼があり、そこにぶつかったところで水が出てくるという状況があります。水が潜ってコンクリートの壁にぶつかって水が出てくるので、色々広がっている状況ではないかと思いますが、工事前に環境調査を行い、近隣に井戸を掘って地下水の調査もしておりますので、そういった部分の確認は工事前にしております。

(奥山アドバイザー)

では、影響は無いということでしょうか。

(南多摩西部建設事務所 工事課河川設計総括担当課長代理 北條 鉄也 様)

補足させていただきます。今日説明した河川は、中小河川整備事業として川の流れを良くして今までより沢山の水が流れるようにする事業で、蛇行している河川を直線の河川に変え、水を速やかに流す整備を行っています。人工的にまっすぐな流れに変えるので、伏流した水自体は旧川の底地や田んぼの水源等、横へ逃げているところもあります。人工的な川を作る際には、必ず井戸調査、水位調査を事前に行いますし、工事の後にも行います。現在行っている事業では大きな水位変化は見られませんが、昔は水位変化があり、井戸水が枯れたことに対し補償をしたこともあったと聞いております。

(事務局)

有り難うございました。ほかにご質問はございますか。

(小倉副会長)

河川環境整備の中に、ぜひ流域対策を含めていただきたいと思います。例えば、流域の森林を増やす、雨水の浸透枳を設置し、雨水を積極的に浸透させる等、水量をいかに確保するか、そういう事も東京都や南西建等で進めていただければと

思います。

(事務局)

有り難うございました。他にないようでしたら、福田様、杉本様に今一度拍手をお願いします。なお、講師の福田様、杉本様はご公務のため、このあとご退席されます。どうも有り難うございました。

#### 4. 経過報告

(事務局)

それでは、経過報告に移ります。今年度の当フォーラムの活動につきましては、お手元の資料の表紙に時系列でお示ししております。それでは、はじめに(1)、(5)、(8)、(10)番の活動をビデオにまとめておりますので、前方のスクリーンをご覧ください。

— ビデオ放映 —

経過報告を続けます。

##### (4) 美しい多摩川フォーラム・御岳の森「木柵工事」完了 (8/15)

- ・ 後ほど、意見交換でご報告させていただきます。

##### (11) 東急百貨店より第9回「ココエコチャリティー」の寄付金贈呈 (10/9)

- ・ 株式会社東急百貨店本社にて、今年も東急百貨店のココエコチャリティー・イベントによる売上金の一部321,564円が、当フォーラムに寄付金として贈呈されました。因みに、昨日の贈呈式には、細野会長に出席いただきました。なお、いただいた寄付金は、「多摩川一斉水質調査」などの多摩川環境保全活動に役立てていきます。

～以下、平成30年度の予定～

##### (13) 多摩川一斉水質調査地点の現況確認および見直し作業 (10月)

- ・ 多摩川一斉水質調査は今年で11回を数えました。次回以降の水質調査を踏まえ、全75地点の現況確認と来年度以降の調査地点見直しをしようというもので、お天気次第ですが、10月に7日程度、渡邊部会長と事務局で、下流は山崎運営委員を加えた3人で現況確認を予定しております。経過報告は以上となります。堤部会長代理、よろしく願いいたします。

(堤部会長代理)

事務局からの経過報告について、何かご意見・ご質問はございますか。ないようでしたら、意見交換に進めます。はじめに事務局の方から説明してください。

## 5. 意見交換（部会長代理）

### (1) 平成30年度下期の活動計画について

(事務局)

平成30年度上期の活動につきましては、ほぼ計画どおり順調に終了することができました。下期の活動計画についても、経過報告で一部ご説明させていただきましたが、ご質問やご意見がございましたら挙手をお願いします。

(堤部会長代理)

事務局で、何か補足等ありますか。

(事務局)

年度はじめに計画がなかった案件ですが、このたび、大田区様より桜の植樹に実績のある当フォーラムに対し、「羽田空港跡地第2ゾーンにカンヒザクラ3本を来年の3月に植樹したい」との具体的なご相談がありました。これを受け、来年3月に大田区様に桜を寄贈する計画を立てております。なお、寄贈に係る費用につきましては、大田区民有志による「桜の植樹募金積立金」より充当させていただきたいと考えております。11月の運営委員会に協議事項として上程する予定です。

(堤部会長代理)

有り難うございました。他にご質問やご意見等ありますか。ないようでしたら、フォーラム・御岳の森「炭焼き施設」全面リニューアル工事について、事務局から説明してください。

### (2) フォーラム・御岳の森「炭焼き施設」全面リニューアル工事について

(事務局)

炭焼き施設については、大半の方が現場を見たことがないと思いますので、パワーポイントを使って簡単に説明させていただきます。スクリーンをご覧ください。

本年8月に木柵改修工事を行い、8月15日に完成しました。こちらが「御岳の森」の全体像になります。左手に炭焼き窯、右手にログハウスがありますが、今回工事したのはログハウスの木柵になります。これで、8月21日に開催される「炭焼き体験と水辺の交流会」に向けて準備万端だと思った矢先に、今度は炭焼き窯施設の屋根が傾いていることに気付き、急ぎょ補強いたしました。来年度は、炭焼き窯施設の全面リニューアル工事を予定しております（木柵、ドラム缶を含む）。ドラム缶につい

ては2回目のリニューアルとなります。工事は来春を予定しており、工事費用として324,000円を来年度予算に計上したいと思っております。通常であれば、45～50万円かかるそうですが、フォーラム価格として特別に値引いてもらいました。その代わり、事務局もDIY要員として参加する予定です。

この施設は年1回、「炭焼き体験と水辺の交流会」でしか使用しておりません。これまでも、役員・会員の方から「もう少し有効に使えないかと」ご意見をいただいております。さしあたりは来年春、工事が完了した段階で、役員・会員の有志の方にお集まりいただき、交流会や懇親会を行いたいと考えております。細野会長も「大賛成!」とのことでした。今後、皆さんのほうで利用したいというご意見があれば、ルール作りが必要かもしれません。ご意見があれば、事務局までお願いします。

(堤部会長代理)

有り難うございました。全面リニューアルおよび来春の懇親会のお話でしたが、これに関してご質問やご意見等ありますか。昨今はDIYブームで、八王子工務店が手掛けるリフォームをテレビでよく見かけます。会員の中にも事務局と一緒にDIYに参加したいという人がいるのではないのでしょうか。

(事務局)

10年前、「御岳の森」の炭焼き窯施設をNPO法人日本エコクラブさんと事務局で約3ヵ月かけて手作業で完成させました。ログハウスは緑の大地会さんにもお願いしました。来春、再び日本エコクラブさんと事務局で作業を進める予定ですが、「私も一緒に汗をかきたい」という方がいらっしゃれば、よろしく申し上げます。

(堤部会長代理)

これは運営委員会で承認された後に、来年度の事業計画に入れるということですね。

(事務局)

はい、そうです。

(堤部会長代理)

11月の運営委員会では、今年度事業として、大田区への「桜の寄贈について」、来年度の事業計画として、「フォーラム・御岳の森「炭焼き施設」全面リニューアル工事について」が上程されるということのようですが、他に何か議案を予定していますか。

(事務局)

はい、フォーラム事務局用パソコンの更新を検討しています。これは、来年度に、事務局のパソコンが7年目を迎えますので、経年劣化により更新したいと計画しております。

(堤部会長代理)

わかりました。他にないようでしたら、次の多摩川夢の桜街道のPRについて説明してください。

### (3) 多摩川夢の桜街道のPRについて

(事務局)

昨年の部会や運営委員会において、美しい多摩川フォーラム公式ホームページの英文化、特に、外国の方にも大変人気のある桜を意識して「多摩川夢の桜街道」を英文化すべきとのご意見をいただきました。これを受け、「多摩川夢の桜街道」英文化につきまして具体的に検討しました。安く見積もっても130万円程度かかるようです。一方、インバウンド対策も大事ですが、多摩川夢の桜街道～桜の札所八十八カ所巡りを日本人にもっともっと知ってもらうことが先ではないかのご意見もいただきました。いずれにしても、来春に「多摩川夢の桜街道」を全面リニューアルする予定で、マップ改訂、「多摩川夢の桜街道」ホームページ改訂に向けて現在準備を進めており、多くの人に広く知ってもらう意味ではとても良いタイミングであると考えております。先日、東北復興で観光客が激増している行政のプロモーションビデオを見る機会がありました。桜や酒、お城や忍者といった外国人が興味を持っている素材を前面に制作された動画で、費用はかなりかかったようですが、想定以上の誘客に成功したとのことでした。そのお話をお聞きして、フォーラムでも例えば、桜の札所の紹介ビデオを制作してみてもどうだろうかと思いを巡らしました。しかし、かなりの費用がかかります。例えば、プロのカメラマンに八十八カ所の桜の写真を撮影してもらい、編集してもらった場合、静止画を動画にするバージョンでも、約400万円かかるそうです。仮に20カ所に絞った場合でも200万円を超えるようです。皆さんに、どういう形でPRしたら有効か、ご意見をいただけたらと存じます。

(堤部会長代理)

それでは、皆さん、ご質問やご意見がありましたら、お願いします。

(山崎教育文化副部会長)

一番手っ取り早いのは、市民参加型でしょう。写真コンテストをやれば、いくらでも素材が集まるのではないのでしょうか。一等賞金を400万円にしたら、何万人も集まるのではないのでしょうか。皆さんが参加した記録が残るのはとても良いことだと思います。上手くいけば、フォーラムの会員も増えるかもしれません。お金を使うことはできるだけ避けましょう。写真コンテストの復活が良いと思います。

(堤部会長代理)

有り難うございました。静止画なり動画なり、素材は皆さんから集めたいというこ

とですね。他にご意見等がありますか。

(奥山アドバイザー)

写真はもちろん、動画もスマホで撮れます。編集は事務局でやっていただきたいと思います。今日のビデオも、NHKの夕方18時半のニュース番組に匹敵するタイトル付けと音楽が入っていますので、内輪でできることは全部やるほうが良いのではないかと思います。八十八カ所の動画をすべて入れると再生時間が相当長くなるので、全部を紹介する30分バージョンと、ダイジェスト的な10分バージョン、CM的な1分半バージョンの3パターンがあれば良いと思います。最近、私はYouTubeに凝っていて、自慢になりますが、再生回数400万越えのものが 있습니다。プロのユーチューバーに聞いたところ、20分を超えると余り見てくれないそうです。1分半～5分以内のものをイントロダクションで作って、20分のほうへ誘導する方法があるようです。フォーラムでもYouTubeを有効利用したほうが良いと思います。無料ですから。広告を入れるとお金ももらえます。

(堤部会長代理)

400万回越えの動画は、具体的にどのような内容ですか？

(奥山アドバイザー)

鮭が産卵し人工授精して、それを水槽に移すというだけの動画です。ロシア語やインドネシア語、アラビア語など、どこの国か分からない文字の書き込みが沢山あり、コメントが読めない状況になっています。

(堤部会長代理)

澤田アドバイザー、何かご意見はありませんか。

(澤田アドバイザー)

私もガイドをやっているのでYouTubeは良く見ますが、お金も掛からないので有効なPRツールだと思います。

(堤部会長代理)

色々なご意見をいただき有り難うございました。他にないようでしたら、その他、事務局からありますか。

## 6. その他

(事務局)

はい、本日は、とうきゅう環境財団の石上様、羽村市産業環境部長の橋本様、多摩川エコミュージアム副代表理事の五十嵐様と多摩川エコミュージアム会員で元ジャカルタ新聞編集長の臼井様よりインフォメーションがありますので、よろしくお願ひします。始めに、石上様よりお願ひします。

(公益財団法人とうきゅう環境財団 石上 恵 様)

配布資料の中にチラシを入れさせていただきました。とうきゅう環境財団では、多摩川流域の水質、生物調査、歴史文化に関する調査研究や活動の支援を始めて来年で45年になります。今年の6月1日から来年度の研究助成の募集が始まっております。詳細はチラシをご覧いただき、告知にご協力をお願いいたします。ご応募もお待ちしております。ホームページにリンクを貼っていただくのも大歓迎ですので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(羽村市 産業環境部長 橋本 昌 様)

赤い色の資料をお配りしました。小作駅前において、9月14日から10月21日まで「羽村イルミネーション」を開催しています。商工会の若手事業者が主体的になり、地域の活性化を図る目的で実施しています。今夜はビアフェスを行います。資料の中をご覧いただくと、羽村では激辛をブームにしようと動いております。商工会加盟店20店舗でスタンプラリーもやっています。なかなか羽村にお越しいただく機会は少ないと思いますが、ぜひよろしくお願ひいたします。

(元毎日新聞論説委員 元じゃかるた新聞編集長 臼井 研一 様)

お配りした「月刊インドネシア」を読んでいただければ分かると思いますが、ジャカルタを流れるチリウン川に清流を取り戻そうというプロジェクトを始めたところです。資料の最後に写真を添付しましたが、チリウン川は汚濁し悪臭もします。散歩したい気持ちにならない川です。観光ガイドブック「地球の歩き方」がありますが、インドネシアのバリ島は1冊の本になっているのに、首都ジャカルタは1～3ページの寂しさです。フランスのパリは1冊の半分以上を占めます。そうならないのは、ジャカルタ自身に問題があります。大気汚染や運河の汚濁・悪臭です。名所旧跡も少ないのですが、環境問題がネックになっています。大気汚染に関しては、電気自動車が普及し、工事中の地下鉄が開通すれば解決できるだろうと思いますが、水の問題は残ります。現地にもゴミ拾いボランティア団体があることを知りました。多摩川エコミュージアムでは、その団体と一緒に、チリウン川に清流を取り戻すために何かできることはないかと考えています。来月11日にチリウン川のボランティア団体か

ら5～10人が来日し、多摩川上流の御岳溪谷や中流、下流を案内して多摩川を視察してもらい、川崎市のせせらぎ館で意見交換会を開く予定です。多摩川も、かつては汚染されていたのに清流を復活させたノウハウがあるので、色々と議論していきたいと思います。今後、皆さんのお知恵を借りたり、アドバイスをいただいたりすることができれば大変心強いので、よろしく願いいたします。

(事務局)

有り難うございました。皆さんのほうから何か質問等はございますか。

(澤田アドバイザー)

色々な団体が多摩川の清掃活動をやっています。御岳溪谷等は全体的にきれいなのですが、ラフティング人気もあって、若者の多摩川利用が増え、橋の下にはBBQ後の鉄板が捨てられています。残念ながら行政は、粗大ゴミに対してあまり積極的ではありません。そういった時、自治体等の清掃活動に対してとうきゅう環境財団さんの助成金は出してもらえるのでしょうか。

(公益財団法人とうきゅう環境財団 石上 恵 様)

もちろん助成します。助成対象なのは、学術研究だけではなく、活動費などの一般部門もありますので、ぜひそちらでお申し込みください。

(澤田アドバイザー)

いただいたチラシを自治会長に渡します。

## 7. 総括

(小倉副会長)

感想を簡単に述べます。第1回三部会合同部会は大変有意義だったと思います。冒頭で南西建の福田様と杉本様から「南西建管内における河川環境整備の事例紹介」があり、大変参考になりました。また、事務局からの経過報告は、映像を含めて大変分かりやすく、色々な活動が行われていることが良く分かりました。最後の意見交換あるいは情報交換も、お互いに知らないことが紹介され、これからのフォーラムの活動に参考になれば良いのではないかと思います。

## 8. 閉会

(堤部会長代理)

以上をもちまして本日の第1回三部会合同部会を終わります。次回は12月12日になります。有り難うございました。以 上